

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873400216
法人名	有限会社 たんぽぽ介護サービス
事業所名	くま安心館グループホーム
所在地	上浮穴郡久万高原町久万2 4 4 番地
自己評価作成日	平成22年8月3日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>その人らしさを大切に、穏やかに生活していただけるように努めている。おいしい食事を提供している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>民家を改修された事業所で、廊下は広めの造りになっており、ところどころに椅子やソファが設置され庭や外の景色が眺められるようになっている。窓を網戸にして風を通しておられた。食堂で昼食後にカラオケを楽しんでいた。</p> <p>この一年間、職員の入れ替わりは少ないようである。利用者の状態に応じて、日中の職員の体制を手厚くされたり、レクリエーションや掃除、食事作り等、職員が得意なことを活かしながら取り組めるようにされている。法人代表者は利用者の誕生日にはお花を持ってご夫婦でお祝いに来られ、一緒に楽しい時間を過ごされたり、職員に声を掛けて「きれいに掃除をしているね」等とほめてくださるようである。職員の外部研修受講等を法人が応援してくださっており、費用面等で協力をしてくれ、職員は県内・外の研修に積極的に参加して勉強されている。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 くま安心館グループホーム

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

露口 理江

評価完了日

22年 8 月 3 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 月例のミーティングで介護理念の確認を行っている。個別のケアプランと共に介護を行う上での共通の指針となっている。	
			(外部評価) 事業所では「その人らしさを大切に」支援することを理念に揚げて、運営推進会議時等に、館長から地域の方達に事業所の理念について説明されている。又、職員でも共有できるように事務所等に掲示されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会や地域の行事に、利用者・スタッフ共に積極的に参加している。近隣の住民を館内に招く催しも行われ、利用者との交流の場も持っている。	
			(外部評価) 事業所は地域の組に入っておられ、年に1回の「みち作り」には職員が出て、みなと清掃等の活動をされている。又、事業所前のお店に買い物に行かれたり、小学生が来てくれた際には、一緒に歌を歌ったり、けん玉等で一緒に楽しまれた。事業所で餅つきをされた時には、地域の方がきねで餅をついてくださり、近所にもお餅をおすそ分けされた。今後、地域の「久万踊り」の際には、法人の系列の施設や利用者も一緒に踊りに参加したいと考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 近隣住民や利用者の家族を招き、認知症サポーターの講習を行った。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議で出された提案は、スタッフミーティ ングで伝達協議し、日々のサービスで実践で出来てい る。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は事業所の食堂で行っておられ、時には食事会を されたり、利用者のお誕生日会の様子を見ていただく こともある。事業所の取り組みを報告されたり、意見 交換を行うことを重ね、地域の方から介護相談を受け ることもあり、管理者は「ホームや認知症についての 理解が広がっている」ことを感じられていた。</p>	<p>さらに、事業所では、今後、会議の参加者を拡げたり、 増やしていきたいと考えておられる。管理者は「協力病院の看護師の方や警察の方」等、利用者の暮らしにかかわる人たちに参加してほしいと話しておられた。又、地域の他グループホームの方にも声を掛けて相互に参加し合い、交流を深めたいと考えておられた。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護保険課や地域包括支援センターと連絡を取りあ い、困難な事例については、助けてもらっている。入 居者の状況は(人数、介護度等)月1回報告を行い空 き部屋の情報もすみやかに町に伝えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議に、町の担当者の方に出席をいただき、 ケアについてアドバイスをいただいたり、事業所の様 子を見て「雰囲気がいい」と感想をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>「指定基準」については、ミーティングで周知徹底を 行い、利用者に危険が及ばない限り、身体拘束をしな い介護の実践に努めている。1人で外出された方がお られ、安全の為、玄関ドアにチャイムを設置した。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が一人で出かけている時には、事業所の前の店 の方が教えてくださる。外部研修等、身体拘束につい て勉強されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 各種法令通知は、頻回ではないが周知している。虐待に関する勉強会は、昨年1回行った。何が虐待にあたるか常に考え防止に努めている。利用者の外泊時は、本人や家族と密に連絡を取っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度を利用している利用者がいる。職員も制度について理解をし、必要に応じて活用ができる体制になっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の締結、解約、改定は口頭で十分な説明をした後で、書面での契約を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者・家族の意見・要望は電話、面談などを行い、取り入れ運営できているが、家族の要望を外部へ表せる場合は、外部評価のアンケートのみとなっている。今後、地域への公表にも載せていきたい。 (外部評価) ご家族の来訪時や電話等でご意見等を聞くようにされている。ご家族からのご意見もあり、居間にソファを増やされた。ご家族には、評価結果とともに、家族アンケートの集計表も送付して見ていただくようにされている、又、利用者個々に担当する職員が、利用者ご本人の様子等を記し、毎月ご家族への書類とともに送付されている。	さらに、ご家族がさらに具体的にご意見や要望を表せるように、報告や働きかけを工夫されてみてはどうだろうか。ご家族も一緒に取り組めるような事業所の活動等も増やしていかれてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者と職員は意見交換が自由にできる関係にある。代表者と職員が話し合う機会は、なかなかとれちないが、管理者に伝えることで上に繋ぐことが出来ている。	
			(外部評価) この一年間、職員の入れ替わりは少ないようである。利用者の状態に応じて、日中の職員の体制を手厚くされたり、レクレーションや掃除、食事作り等、職員が得意なことを活かしながら取り組めるようにされている。法人代表者は、利用者の誕生日にはお花を持ってご夫婦でお祝いに来られ、一緒に楽しい時間を過ごされたり、職員に声を掛けて「きれいに掃除をしているね」等とほめてくださるようである。職員の外部研修受講等を法人が応援してくださっており、費用面等で協力してくれ、職員は県内・外の研修に積極的に参加して勉強されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 資格に応じた給与になっており、職員全員資格取得に意欲的で向上心を持ち仕事している。職員の半数以上が介護福祉士の資格を持ち、他の職員も全員介護福祉士の資格所得を目指している。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 管理者は、職員個々の特性、力量を見極め、必要と思われる研修を勤務として受けさせている。また、勤務中やミーティング等、適宜自己覚知を促す機会を設けている。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域ケア会議に、職員が交代で参加し、同業者との意見交換や勉強会ができています。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前の状況を把握しきれないところがあり情報不足になっていた。その為入所後、円滑な関係を築くことに時間がかかる場合がある。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 「受け入れを拒否されたら」との思いからか、家族や以前の施設から、本人の状態を隠してしまい、受け入れ後困惑することが多々あった。家族の要望は、受け入れだけしてもらえれば、というものがおおく、受け入れ後良好な関係を築いていく場合が多い。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人の状態・要介護度・家族の希望などを聞き適切な支援を行うように努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 生活の流れに沿って、洗濯物を干したり、たたんだり、又食事の下準備を職員と共にしたり等、日々の暮らしの中で取り入れている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族に電話連絡や訪問をお願いし、利用者が精神的に安定できるよう協力を求め、家族も協力してくれている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 同級会や募参りなど、希望に応じるよう支援している。知人宅への訪問や、電話連絡など、あらかじめスタッフが先方とコンタクトをとり、利用者相手方との無理のない関係継続ができるよう調整している。 (外部評価) 利用者に同級会の案内が来た時には、職員が送迎された。お部屋にご家族の写真を貼っておられる方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士で口論したり、利用者に対する不満を言われる人がある。利用者同士がお互いを理解し、大きな揉め事にならないようタイミングを見計らいスタッフが仲介している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約終了後も交流を持ち続けている方、便りしてくれる方などがある。残された家族の入所の相談などもある。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 「その人らしさを大切にする」という理念のもと、日々利用者の意向の把握に努めている。本人の生活歴、家族の意向なども、本人が語れない所を補うために必要と考え、情報の収集・共有・分析に努めている。 (外部評価) 「帰りたい」と言われる方に、職員は「さみしい思いをしているかもしれない」と、コミュニケーションを増やしたり、思いの把握に努めておられる。	管理者は「ご本人の本当の気持ちは分かれていないのではないかと感じておられ、さらにアセスメントについて工夫をすすめていきたいと考えておられた。利用者個々の思いや意向を十分探り、情報を集めて「その人らしい暮らし」の支援のための計画作成に採り入れいかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族さんから話をお聞きしたり、担当のケアマネさんやヘルパーさん等から、情報を得るようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者の状態は、日々変化することをスタッフ全員が確知している。日誌や申し送り等で、個々の状態の変化を把握し、常に新しい情報を共有できるシステムが出来ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			関係者が一同に集まるのは難しいが、面会に来られたときにご家族と話し合ったり、月に1回のミーティング等で、職員の意見を共有し、それぞれの意見やアイデアが反映できている。	
			(外部評価)	
			ケアマネージャーは、利用者個々の「今できることを続けていけるようなプランの作成」に努めておられる。計画は、毎日 x でモニタリングをされて、担当職員とケアマネージャーで話し合い、半年ごとに見直しをされている。	さらに、ご家族と一緒に「ご本人の暮らしと介護についてどうしていくか」ということを、具体的に相談したり、話し合うような機会を作ってはどうだろうか。ご家族からも具体的なご意見や要望を引き出し、又、アセスメントの充実からご本人らしい暮らしの支援につなげていかれてほしい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			毎日の個別記録やミーティング等で話し合った意見や情報をもとに、月1回ケアプランの見直しを行い、日々のケアの実践に役立てている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			その都度本人や家族のさんが希望するニーズに柔軟に対応し、利用者本位の生活ができるよう取り組んでいる。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			フォーマル、インフォーマルの地域資源を把握し、スタッフ全員で個々の利用者に必要な資源を提供できるようスタッフミーティングで話し合っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 入所前からのかかりつけ医に、入所後もみてもらえる ように支援している。利用者の希望でかかりつけ医の 変更の手続きを行った事例もあり、利用者家族の希望 にすみやかに対応できている。	
			(外部評価) 利用者個々のかかりつけ医に、続けて診てもらえるよ うに支援されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 居宅療養管理指導を受けている利用者があるが、現在 では訪問看護の利用を必要としている利用者はいな い。過去に利用していたこともあり、必要な時は、訪 問看護の利用ができるよう医療機関との連携ができて いる。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時は必ずスタッフが付き添い、入院治療計画を聞 いている。退院後安心して元の生活に戻れるよう、利 用者、家族から話を聞き、病院関係者からの情報も出 来る限り詳しく聞くようにこころがけている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 全ての家族さんと話し合いを行い今後の希望を確認し た。主治医との連絡を密に行い、重度化にむけて取り 組んでいる。現在指針の作成中。	事業所の看取り指針の作成後には、ご家族等にも説明 をする予定である。利用者の重度化のこともあり、さ らにご家族と話し合う機会を作ったり、職員の研修に 取り組み、事業所の体制を作っていかれてほしい。
			(外部評価) 事業所では、看取りの指針の作成をすすめておられ、 ご家族に終末期の支援の希望等についても聞き取りを された。数名のご家族から希望があったようだ。又、 他の介護施設の入居を希望されていた方も、ご本人の 希望等もあり、事業所での看取り支援を希望されてい る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			定期的な救命講習やAED講習を受け急変時に備えている	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			地域の方にも参加していただき、出火場所の想定を毎回変えて避難訓練を行っている。	
			(外部評価)	
			4月にスプリンクラーを設置されている。避難訓練時、地域の方にも6名参加いただき、又、事業所の中も見学していただいた。災害時、地域の方は駆けつけてくださるようになっており、利用者をホームの外に避難させた際に、安全な場所まで誘導してもらっている。たばこを吸う利用者の方も複数おられ、喫煙場所を決めて職員が見守っておられた。9月には昼間の火災を想定した訓練を行う予定で、地域の方にも案内してともの行うことになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			失敗や迷惑行為には、さりげない声かけを心がけている。それぞれの方が、自分の考えを持たれており、ぶつかることがあり。スタッフが介入しどちらも傷つくことのないように努めている。	
			(外部評価)	
			選挙がある際には、ご自分で投票したい人を選んで選挙会場まで職員が同行された。排泄をご自分で行いたい方の意思を尊重して、後から職員が片付けされたり、そっと衣服を整えたりされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			決め付けにならないよう、本人の希望を確認し優先している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 買い物や外出の希望は極力添えるように努めている。入浴も順番ではなく、入りたいときは毎日、拒否の時は翌日にと、本人の意思を尊重している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者本人からの申し出があった時は勿論、職員から様子を見て理・美容室へでかけ気分転換をはかっています。入浴時の爪きりや、髭剃り、耳かき等コミュニケーションをとりながら行うことを心がけています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニューは決めていない。リクエストのあった物、季節の頂き物、など下準備を一緒に行い調理している。片付けは自分でされる人、流しまで運ばれる人など、さまざまである。	
			(外部評価) 料理の得意な職員の方も多く、彩りやメニューも工夫して食事作りをされている。利用者の好物を作ることも多く、喜ばれている。職員は、利用者とともに同じ食事をとりながら、残っているおかずのお皿をご本人の見えるところに移動させたり、食事の内容を案内しながら支援されていた。食前に皆にウェットティッシュを配って回られる利用者や洗い物をされる方も見られた。時には、そうめん・冷麺等、選べるようにされたり、庭でバーベキューを楽しまれることもある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個別の食事摂取量のチェック表に記入し、栄養摂取ができていくかわかるようにしている。水分摂取も好み、健康状態に応じ摂取できるように対応している。特に夏場の脱水には注意し、果物やゼリー状のものを常備している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) うがい、歯磨き、又義歯の洗浄等、毎食後行えるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄の声かけ、見守り等個々に必要とされる支援を行っている。紙パンツを使用されている方は失禁が少なくなるようにトイレへの誘導をしているが、現状維持にとどまっている。	
			(外部評価) 1階のトイレは、カーテンで仕切って車椅子の方がご自分で使用しやすいようにされていた。カーテンを開ける際には必ず「入ってますか」と聞いてから開けるようにされている。トイレも増設して3カ所に増えていた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 起床時に牛乳を摂取していただいたり、ヨーグルトを入れたミックスジュース等、飲食物で工夫をしたり、適度な散歩や軽い家事等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴は、希望も取り入れ、個々の入浴の温度が違う為、温度計を購入し、出来る範囲の好みの温度で入浴できるよう対応している。	
			(外部評価) 車椅子を利用している方は、男性の職員の方がおぶって2階の浴室にお連れしている。深さのある浴槽だが、現在は手すりを使って浴槽で温まっておられるようである。前回の外部評価結果を受けて「快適な入浴をしてもらえるような環境整備」を法人代表者と相談され、運営推進会議時では地域包括支援センターの担当者から「浴室へのアプローチの整備が重要」とアドバイスをいただき、数年掛けて整備していくことを会議時に説明された。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 食事の時以外は、個々に自由に過ごしたい場所で自由に過ごされている。食事後は居室に戻られ、横になられたり、お昼ねされたと体を休めておられます。寝具の清潔にも気を配り、洗濯、布団干し等、気持ち良く眠っていただけるよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬については特に留意し、用法、用量は厳守している。薬の目的、副作用については、処方箋を読んだり、医師から聞き、利用者の変化に気をつけている。その他の薬についても本や研修等で学習している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 花や野菜を育てたり、野鳥の餌やりをしたりと趣味を生活の中に取り入れている。又、カラオケ・紙芝居等で気分転換を行っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買い物希望があれば職員とでかける。四季ごとの花の見学や納涼祭、夜市等の参加も行い、それぞれの外出希望に取り組んでいる。	
			(外部評価) お弁当を持ってお花見に出かけられたり、スーパーへ食材の買い出しに行かれたり、外食にも出かけておられる。又、地域のお祭り等も見学されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 大金はこちらで管理しているが、持てる方には小銭を持っていただき、お参りした時のお賽銭やパンを買ったりと自分の意思で遣うことができるよう対応している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状・お礼状のお手伝いをしている。又電話は番号を調べてかけたり、自ら電話帳を見てかけたりされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 車椅子の方が、便座に自力でスムーズに座る事ができるよう、トイレ入り口付近の壁を取り除き改装、カーテンでしきりをした。玄関やパブリックスペースには、中庭に咲いた花等四季を通じ生花を飾っている。	
			(外部評価) 民家を改修された事業所で、廊下は広めの造りになっており、ところどころに椅子やソファが設置され、庭や外の景色が眺められるようになっている。窓を網戸にして風を通しておられた。食堂で昼食後にカラオケを楽しまれていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) パブリックスペースが食堂しかない。2階廊下にソファを設置し、利用者さんどうし談話されることがある。運営推進会議などの催しものがあるとき、利用者さんの居場所が確保しづらい。	
			(外部評価) ご主人の仏壇を買われたり、趣味で作った折鶴やマスコットを飾ったりと、一人ひとりの落ち着く場所になるよう工夫している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室もそれぞれに違う間取りで、床の間があったりガラス戸や障子、ふすま等、利用者の年代に馴染みのある雰囲気となっている。テーブルで趣味のパズルを作っておられたり、お花や装飾品等、ご家族が持って来られたものを飾っておられる方もあった。利用者と職員と一緒に掃除をされている。入口の扉を自分で閉めることができるように、ひもを利用している方もあった。	
			(外部評価) トイレに手すりをつけ、入り口をカーテンにし、車椅子での使用を出来るようにした。床に をつけたり、絵でトイレ等の場所がわかるように工夫した。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) トイレに手すりをつけ、入り口をカーテンにし、車椅子での使用を出来るようにした。床に をつけたり、絵でトイレ等の場所がわかるように工夫した。	
			(外部評価)	